

すぎなみ教育報

No. 227

平成29年12月14日
(年4回発行)



発行 杉並区教育委員会

CONTENTS

特集1

新学習指導要領で授業が変わります … 2

特集2

杉並教育ICTフォーラム開催 …… 4

学校支援本部の扉⑤ …… 6

ようこそ学校図書館へ① …… 7

中学校の部活動とソフトテニスに関する
懇談会開催

郷土博物館・収蔵資料展のお知らせ … 8

中央図書館の大規模改修に向けた取組



これからの時代を生きる 確かな力を育てる

区立小中学校は、新たな学習指導要領に基づく授業を進めこれからの時代を主体的に生きていくための確かな力を育んでいきます。

新学習指導要領で授業が変わります

本年3月、文部科学省は、新しい学習指導要領[※]を示しました。これに基づく授業は、平成30年度からの移行期間を経て、小学校は平成32年度から、中学校は平成33年度から全面实施となります。

本特集では、新学習指導要領のポイントと授業がどう変わるのか、そのあらましをお伝えします。

[※]学習指導要領は、学校教育の一定の水準を確保するため、各教科等の目標や内容、指導方法などが定められています。公教育を進める上での基本となるもので、約10年ぶりに改訂されました。

新学習指導要領の主なポイント

(1) 新学習指導要領では、現在の子どもたちが成人する頃は、グローバル化の進展やAI（人工知能）などの絶え間ない技術革新等により、学び方や働き方、社会の仕組みが大きく変化し、予測困難な時代になるとしています。そして、子どもたちがこれらの変化に対応し、主体的に生きていくためには、協働して問題を解決したり、様々な情報を基に新しい価値を生み出す力を身に付ける必要があることから、全ての教科において「**主体的・対話的で深い学び**」を実践することとされました。

- ・自分の力で考え、判断し、表現する「**主体的な学び**」
- ・他者と協働して自己の考えを深め、解決する「**対話的な学び**」⇒「**主体的・対話的で深い学び**」
- ・学んだことや考え方を活用する「**深い学び**」

(2) また、グローバル化が急速に進展する中、生涯にわたる様々な場面で外国語によるコミュニケーション能力が必要とされることから、新たに**小学校3・4年生に外国語活動を導入**するとともに、従来の**小学校5・6年生の外国語活動を教科化**し、外国語教育の充実を図ることとしています。

[※]新学習指導要領の詳細な内容については、文部科学省HPをご覧ください。 [新学習指導要領](#) [検索](#)

授業がどう変わるのか

(1) 「主体的・対話的で深い学び」を実践する授業

区立小中学校では、新学習指導要領に先立ち、「主体的・対話的で深い学び」となる授業を進めてきており、来年度以降、更なる推進を図ることとしています。こうした授業の実践について、平成29年度から本テーマによる教育課題研究（2年間）を行っている向陽中学校の授業（社会科「基本的人権の尊重と憲法」）の流れをご紹介します。

[※]教育委員会は、こうした教育課題研究の取組や教員研修等を通して、各学校の「主体的・対話的で深い学び」の実践を支援しています。



＜授業の流れ＞

主体的な学び

- まず、先生が「憲法とは何か」を解説した後、「日本国憲法とその改正案の違いを探し、どちらがよいかを考える」という課題を設定します。
- 生徒は、この課題について自己の考えをまとめます。

対話的な学び

- 次に、自己の考えを基にグループで話し合いを行います。
- その中で、一人ひとりが「どちらがよいか」根拠を示して話し合います。これにより、新たな視点を含め、多角的に考えることにつながります。

深い学び

- 最後に、クラス全員で各グループの話し合い結果を発表・共有します。
- その後、生徒自身が振り返りを行うことで、様々な考えを受けて、より深い学びを得ることができます。

生徒の感想

- グループ学習では、友達の話聞いて、自分の考えがより深まったと思う。
- 先生から一方的に勉強を教わるのではなく、自分たちで話し合う機会はとても楽しい。これからもこうした機会が増えるといい。



先生の感想

- グループ学習では、一人ひとりが友達の発言で気付きを得たり、別の視点で考えたりできることが、対話的な学びのよさです。
- こうした対話的な学びでは、話し合いを深めるため、生徒たちが気付かない視点を助言するなど、授業の進め方を工夫しています。

(2) 「小学校における外国語教育」の授業

区立小学校では、これまでも独自に1年生から外国語教育を実施してきました。この実績を踏まえ、来年度以降、下表のとおり新学習指導要領に基づく外国語教育の更なる充実に取り組んでいく考えです。

区分		小学1・2年生	小学3・4年生	小学5・6年生
現行	平成29年度まで	年間5時間	年間10時間	年間35時間
新学習指導要領	30・31年度(移行期間)	年間5時間	年間15時間	年間50時間
	32年度～(全面实施)	年間5時間	年間35時間	年間70時間【教科化】
区における学習の基本的な考え方		外国語や異文化に出会い、触れ合う	外国語(聞く、話す)に慣れ親しむ	外国語(読む、書く等)の基礎を学び、広げる
指導体制		学級担任と外国人指導助手の協働による指導		学級担任と日本人外国人指導助手等の協働による指導

[※]表中の網かけ部分は、学習指導要領に基づく文部科学省基準による時間数。

現在、各小学校では、来年度以降における外国語教育の授業時数の確保策とともに、年間授業計画等の検討を行っています。教育委員会では、区独自の教員用指導資料「すぎなみ9年カリキュラム(外国語教育編)」の改定や、学級担任と協働する専門人材の配置拡大を図ることなどを通して、より充実した授業が実践されるよう、各学校を支援していきます。

＜桃井第一小学校3年生の外国語活動の様子＞



子どもたちは、1年生の時からかかわっている外国人指導助手(ALT)との交流を通して、英語に慣れ親しんでいます。

子どもたちにこれからの時代を生きる確かな力を育てる 折井 麻美子 教育委員



私は大学で英語科を教える立場にありますが、これからは一部の業種や職種だけでなく、全ての人が生きていく上で外国語によるコミュニケーション能力が欠かせない時代になると感じています。その意味で、義務教育9年間を通して小学校教育の成果を中学校教育に円滑につなげ、外国語能力の向上を図るという新たな学習指導要領の方向性は、大変重要なものと考えます。また、「主体的・対話的で深い学び」についても、子

どもたちが「何を学ぶか」だけでなく「どのように学び、何ができるようになるか」というように、時代にふさわしい教育のあり方と受け止めています。区立小中学校では、これまでも「外国語教育」や「主体的・対話的で深い学び」など、子どもたちの確かな成長を目指して教育を進めておりますが、今後は新たな学習指導要領に沿って取組を一層着実に進めていく必要があります。保護者や地域の皆様には、是非こうした各学校の授業の実践をご覧いただき、杉並の教育におの一層のご理解とご支援をいただきたいと思います。

みんなで考えよう！これからの時代にふさわしい杉並の教育

『杉並教育ICTフォーラム』を開催します

「特集1」における「新学習指導要領の主なポイント」にも記載したとおり、子どもたちがこれからの時代を主体的に生きていくためには、協働して問題を解決したり、様々な情報を基に新しい価値を生み出す力を身に付ける必要があります。

そのためには、これまで以上に「基礎的・基本的な知識・技能」を定着させるとともに、「考える力」や「コミュニケーション力」を高めていかなければなりません。区立学校は、こうした考えのもと、ICT※を有効に活用した教育を進めています。

本フォーラムは、ICTを活用した授業の実際と、その効果、今後の課題と取組の方向性などについて、保護者や学校関係者、地域の皆様と共に考える機会として開催するものです。多くの方々のご来場を期待しています。

※ICT：情報通信技術に関する設備・サービスの略。区立学校では電子黒板やタブレットパソコン、デジタル教材などを活用した教育を進めています。



第1部 区立学校におけるICTを活用した授業の実践報告

○電子黒板を活用した授業

杉並第二小学校 第1学年 国語（一斉学習）
桃井第三小学校 第6学年 社会（一斉学習）

○タブレットパソコンを活用した授業

桃井第三小学校 第5学年 社会（協働学習）
和田小学校 第3学年 漢字タイム・算数計算（個別学習）

○オンラインスピーキングによる英語学習 ※1

杉並和泉学園 第7学年 英語（個別学習）

○特別支援教育での活用

済美養護学校 特別支援学校におけるICT活用例
高井戸第二小学校 小学校特別支援学級におけるICT活用例
井草中学校 中学校特別支援学級におけるICT活用例

○プログラミング教育 ※2

天沼小学校 第3学年 プログラミング教育（協働学習）

○情報モラル教育 ※3

天沼小学校 第4学年 情報モラル教育（協働学習）

※1：インターネットを使って外国人英語講師（ネイティブスピーカー）と生徒が1対1で行う英会話の学習。
※2：社会でコンピュータが果たす役割を理解し、コンピュータに自分が意図した処理を行うよう指示する体験などを通して「論理的思考」を育てる教育。
※3：児童生徒が適切にICTを活用し、情報社会を安心・安全かつ豊かに生き抜くための能力や態度を育成する教育。

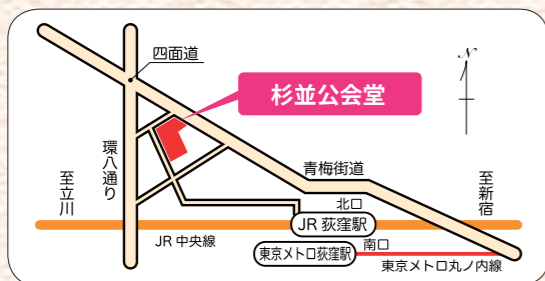
日時 平成30年1月27日（土）

午後1時30分～午後4時（開場：午後1時）

会場

杉並公会堂大ホール（杉並区上荻1-23-15）

※JR中央線・東京メトロ丸ノ内線「荻窪駅」北口から徒歩7分
（車での来場はご遠慮ください）



定員1000名

申込み先着順。申込みは次ページ下「申込み方法」をご覧ください



第2部

有識者・杉並区教育委員会教育長による座談会

テーマ「AI（人工知能）と共存する時代を主体的に生き抜く力を育む学校教育を目指して」

登壇者



放送大学 教授
中川 一史氏



東北大学大学院 情報科学研究科教授
堀田 龍也氏



杉並区教育委員会 教育長
井出 隆安

全区立小中学校のICT公開授業

申込不要



当日午前中は、全区立小中学校でICT公開授業を行っています。こちらも是非お越しください。

時間等の詳細は教育委員会HPをご覧ください。各学校にお問い合わせください。

※教育委員会HPは12月20日（水）、各学校のHPは平成30年1月13日（土）以降、詳細をご覧ください。

申込み方法

電話またはメールにて、学校支援課 学校支援係までお申し込みください。メールの場合は、件名「杉並教育ICTフォーラム」、本文に氏名と電話番号を記入してください。

※定員（1,000名）になり次第、締め切らせていただきます。

※定員を超過した場合を除き、メール受信後の確認のご連絡はいたしません。当日は直接会場へお越しください。

※個人情報適切に管理し、当事業の目的以外では使用しません。

問合せ・申込み

学校支援課 学校支援係
【電話】

03-5307-0756（直通）

※午前8時30分～午後5時
（土日祝12/29～1/3除く）

【メール】

gakko-sien@city.suginami.lg.jp

▼詳しくは「杉並教育ICTフォーラム」へ



学校支援本部の扉 ⑤

井草中学校学校支援本部 “えん”

本部役員の「循環」と「運営体制の工夫」

井草中学校の学校支援本部 “えん” は、「多くの人々が循環して子どもたちを支える」との思いで名づけられました。その循環の一環として、今年度交代した二代目本部役員の方々にお話を伺いました。

平成17年度に本部を立ち上げた井草中では、一代目の役員3名（本部長と二人の副本部長（それぞれ会計と書記を兼務）で構成）を中心に、この10年にわたって学校及び関係者と共に試行錯誤しながら、現在の主要事業である保育体験授業（中3全クラスが対象）や授業サポート、学校図書館業務などの基盤を築きました。

二代目役員は、この基盤をしっかり引き継ぐため、6名体制（本部長、副本部長3名、会計、書記）とする一方、各メンバーが基本的に主要事業を一つずつ分担したり、役員同士の情報連絡や相談にメッセージアプリを活用して、全員が集まる会議時間を減らすなど運営の効率化を図る工夫をしています。



これにより、各役員が自分のペースで活動しやすくなるとともに、それぞれ気付いたことを即座に発信・共有することを通して、主要事業の企画・実施に反映されるケースも増えています。

学校支援本部 “えん” は、これからも時代の変化に応じた体制作りや運営上の工夫に努めながら、子どもたちの豊かな教育活動を支援します。



問合せ：学校支援課 学校支援係

「JOINT」が平成29年度「地域学校協働活動」文部科学大臣表彰を受賞

連載の第一回（教育報No.223号・教育委員会 HP 参照）で紹介した富士見丘中学校の学校支援本部「JOINT」が平成29年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。

これは、学校支援本部が従来の「地域の学校支援」という枠を超え、生徒が社会貢献できる機会を積極的にコーディネートするなど「中学生の地域貢献」という視点でも機能することで、地域と学校をつなぐパイプ役を果たしながら地域コミュニティの形成に大きく寄与する取組として評価されたものです。

本部長の言葉

「JOINT」は、地域の皆様をはじめ、多くの方の力で支えられています。今回の表彰で評価された「中学生の社会貢献活動」を含め、これからも様々な人をJOINT〜つなぐ〜して、活動を広げていきたいと思っています。

本部長 宮原弘美（左端）



杉並区ではこれまで、井草中学校学校支援本部 “えん” (H23)、杉並第一小学校学校支援本部(H24)、桃四コミュニティスクール(H25)、三谷小学校学校支援・地域共生本部(H26)、天沼小学校学校支援本部 “あまぬまワンダラーズ” (H27) が文部科学大臣表彰を受けており、今年度の富士見丘中学校で6校目の受賞となります。

ようこそ学校図書館へ



全区立学校の学校図書館は、子どもたちの読書活動や調べ学習の拠点です。各図書館では、核となる学校司書と教員が連携して、子どもたちが読書習慣を身に付ける支援のほか、図書資料やインターネットの活用による調べ学習等の充実に取り組んでいます。本号から、こうした学校図書館の取組を連載してご紹介します。

その① 井荻中学校

本年度、井荻中の図書館では、学校司書と図書編集委員の生徒が相談して、「クラス対抗偉人パズル」を実施するという、学校の実情に応じた生徒の読書習慣づくりに取り組み、一定の成果をあげました。

これまで井荻中学校は、おすすめ本をクラス内で紹介し合う「ブックトーク」や、全生徒が同じ小説を読んで感想を伝え合う「読後交流会」などに学校全体で取り組んでおり、平成27年度には「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受賞しています。

こうした中であって、体育祭や期末テストがある6月は図書の貸出しが少なくなる実態がありました。学校司書と生徒たちはこれに着目し、一緒に対応策を考え、より多くの生徒に図書館を利用してもらうために、学校ぐるみで「クラス対抗偉人パズル」を企画・実施しました。具体的には、6月の1カ月間、生徒が本を1冊借りるご

とに1ピースを渡し、それをボードに貼って、80個のピースによる偉人の肖像の完成をクラス単位で競い合うというものです。

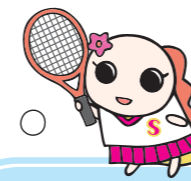
この取組をした結果、学校全体の貸出し冊数は前年同月比約1.8倍に増え、生徒からは「積極的に読書する気持ちが高まった」、「クラス全員で読書に取り組むことが楽しかった」などの肯定的な意見が多くありました。

学校司書の清水さんは、「これからも生徒の意見・提案を生かした取組を織り交ぜながら、生徒の読書と学びを支えていきます。」と話していました。

で上がる肖像は、各クラス担任の教科に關係する偉人としています。「元素周期表を考案したロシアの化学者」など図書館で調べられるヒントを示すことで、生徒が楽しみながら取り組むための工夫を凝らしました。



問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021



「中学校の部活動とソフトテニスに関する懇談会」を開催します！



<浅川陽介氏>

主な大会実績

- ・全日本選手権 優勝（2度）
- ・元ナショナルチーム日本代表
- ・元世界ランキング1位

日時

平成30年1月12日（金） 午後4時30分～午後6時30分（予定）
阿佐ヶ谷中学校開放会議室
（阿佐谷南1-17-3・JR中央線「阿佐ヶ谷駅」東京メトロ丸ノ内線「南阿佐ヶ谷駅」）

参加ご希望の方は、以下の問合せ・申込み先までご連絡ください。

問合せ・申込み：学校支援課 学校支援係 ☎03-5307-0756（直通）

郷土博物館・収蔵資料展

「家族で語ろう! 昔の暮らしと今の暮らし」のご案内



ローラー式洗濯機

展示
期間

12/9 (土) ~平成30年2/25 (日) 午前9時~午後5時
*月曜日・第3木曜日(祝日と重なった場合は翌日)及び12/28~1/4は休館

炭火アイロンやローラー式洗濯機など、大正・昭和時代の生活道具等を展示します。昔懐かしい道具がありますので、当時の暮らしから今の暮らしへの移り変わりなどをご家族で語り合ってください。

【観覧料】100円(20名以上の団体は1人80円)

*中学生以下無料

【場 所】郷土博物館(大宮1-20-8)



炭火アイロン

お知らせ

平成30年1月10日・17日(午前9時10分放送)のNHK Eテレ「コノマチ☆リサーチ」の「マチの“むかし”を知りたいぞ!」に郷土博物館が紹介されます。

杉並区 博物館

検索

問合せ：郷土博物館 ☎03-3317-0841

中央図書館の大規模改修に向けた取組を進めています

中央図書館(昭和57年開館)は、電気・給排水・機械設備等の老朽化が進んでいるため、平成31年度から大規模改修工事を実施する予定です。この改修の中で、一般図書スペースの拡充や調べもの・学習ゾーンの新設、中・高校生向けスペースの拡充、屋外スペースの有効活用等と合わせて実施し、図書館サービスの一層の向上を目指していくこととしています。

今後のスケジュール(予定)

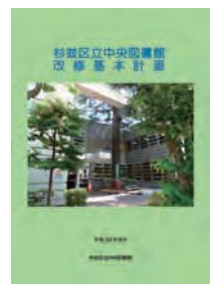
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
改修基本計画※1	8月			
基本・実施計画				
図書館閉館※2				
改修工事				
リニューアルオープン				9月

※1 改修基本計画は、教育委員会HPでご覧いただけます。

杉並区 中央図書館
改修基本計画

検索

※2 閉館中の対応については、別途お知らせします。



問合せ：中央図書館 ☎03-3391-5754

教育委員会からのお知らせ

- ◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、平成28年度の教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いました。その結果をまとめた「平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(平成28年度分)報告書」は、教育委員会ホームページに掲載しているほか、区役所区政資料室、各図書館でご覧いただくことができます。
- ◎昨年度に引き続き実施した「平成28年度における杉並和泉学園の運営等に関する検証結果」は、教育委員会ホームページに掲載しているほか、区役所学校支援課でご覧いただくことができます。

広告



NPO法人
We are サービスフロンティア
教育環境づくりを通して、地域を支える

TEL & FAX. 03-3325-7254

http://www.sugi-chiiki.com/toshokan_sa-bisu/

杉並区成田東 1-22-1

03-5913-7776



<http://www.lamerpiano.com/>

ラメールピアノ 教室

SUGINAMI